

NP5Y-Challenge50

決算説明資料

2021年3月期第2四半期



Listed Company 4241

2020年11月
株式会社アテクト
NP5Y-Challenge50

●半導体資材事業

スペーサーテープの出荷数量は前期比8.8%減、売上高は円高・ウォン/NT\$安及び販売単価の高いスマートフォン向け製品等の回復が鈍く、16.8%の減収となりました。第3四半期以降は新型コロナウイルス危機以前の数量に回復してくる見通しですが、4期連続で続いていた二桁成長の水準に戻るまでには当面、時間を要するものと考えております。

●衛生検査器材事業

観光産業、外食市場先の受注減少により、売上高は7.9%の減収となりました。国策による様々なキャンペーン効果もあり、底を打った感がありますが食品衛生業界の産業構造が変化する中で先の読めない状況が続いております。

●PIM事業

半導体設備や工作機械の世界的需要低迷が続いており、新規量産品として受注した高機能部品が想定を大きく下回り、第3四半期以降も受注の回復が見えておりません。

【全グループでの主な対応】

- ・経費節減プロジェクトにより上半期累計販管費87百万円削減
- ・シャールレ及び半導体資材製造部門において極端な在庫圧縮と生産の効率化により、週一の稼働停止、併せて間接部門の輪番制出勤体制による一時帰休を実施し雇用調整助成金を申請

通期業績予想・配当予想について

通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響により、合理的に算出することが困難であるため未定としておりましたが、第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、依然、出口の見えない新型コロナウイルスの影響と長引く米中貿易摩擦により、先行きは不透明な状態ですが、2大コア事業である半導体資材・衛生検査器材においては、底打ちの兆しが見え始め、今後は緩やかに改善の方向に進むという前提のもと、業績予想を公表致します。

また、通期連結業績予想の見込みの開示に合わせ配当予想につきましても公表致します。

【通期業績予想】

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
今回予想	2,700	120	100	50	11円36銭
(ご参考)					
前期実績(2020年3月期)	2,977	157	126	38	8円76銭

【配当予想】

配当予想： 期末 5円 (前期実績3円)

NP5Y-Challenge50

2021年3月期第2四半期 業績総括



Listed Company 4241

全社連結業績

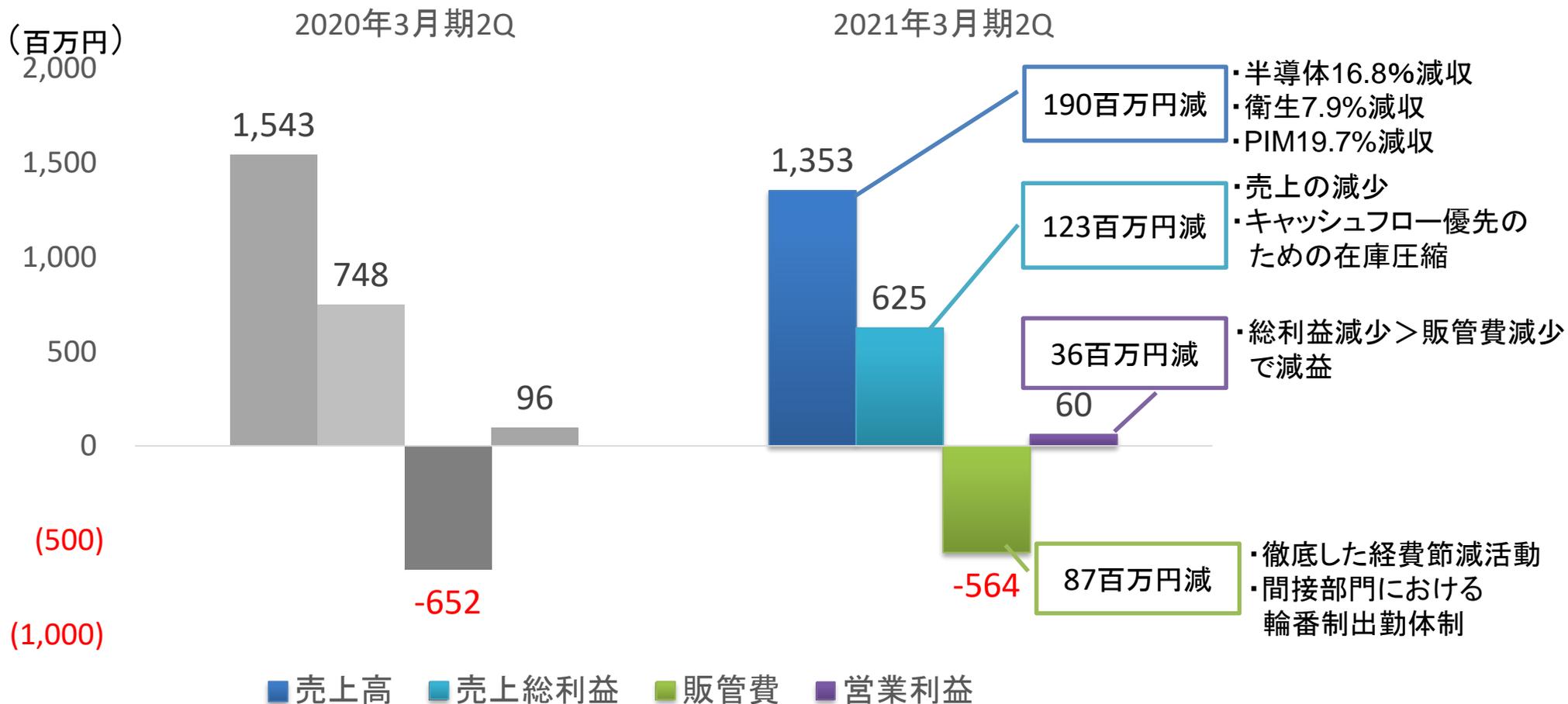
atect

(百万円)

	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	1,543	1,353	▲190	12.3%減
営業利益	96	60	▲36	37.2%減
	6.3%	4.5%		
経常利益	68	43	▲24	35.7%減
	4.4%	3.2%		
第2四半期 純利益	62	38	▲23	38.5%減

グループ連結売上高は前期比12.3%減、営業利益37.2%減

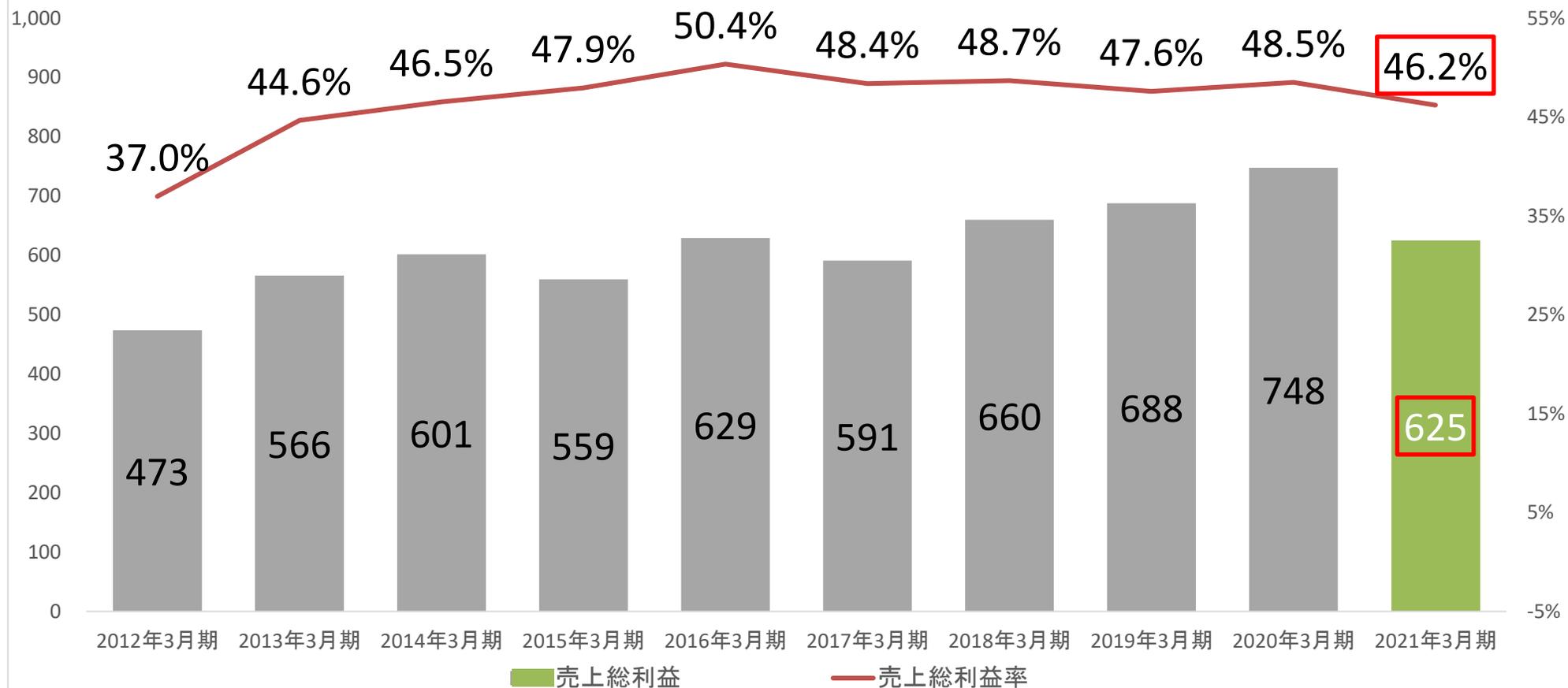
2021年3月期2Qサマリー



販管費は87百万円の改善(前期比13.4%減)となったが、売上総利益123百万円減により営業利益は36百万円減

上半期売上総利益推移

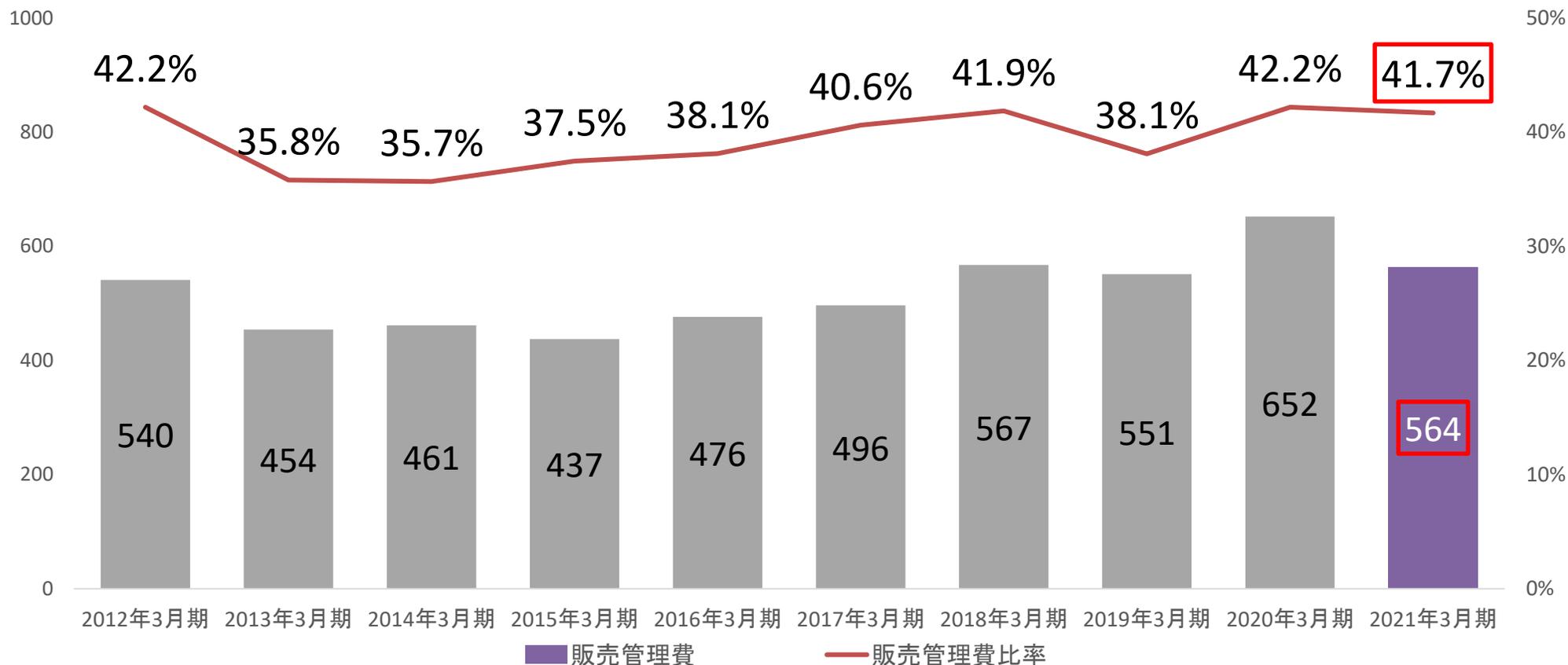
(単位:百万円)



新型コロナウイルスによる減産及びキャッシュフロー改善の為、在庫の極端な圧縮により、売上総利益は4期ぶりに減少

上半期販売管理費推移

(単位:百万円)



徹底した全社経費節減活動及び間接部門における輪番出勤体制による雇用調整
助成金申請⇒販管費87百万円圧縮

各事業の現況と今後について

半導体資材

- ・3Q以降回復の兆し、通期売上高の減少幅は上半期に比べ縮小の見込み
- ・2桁成長路線への回復は依然不透明

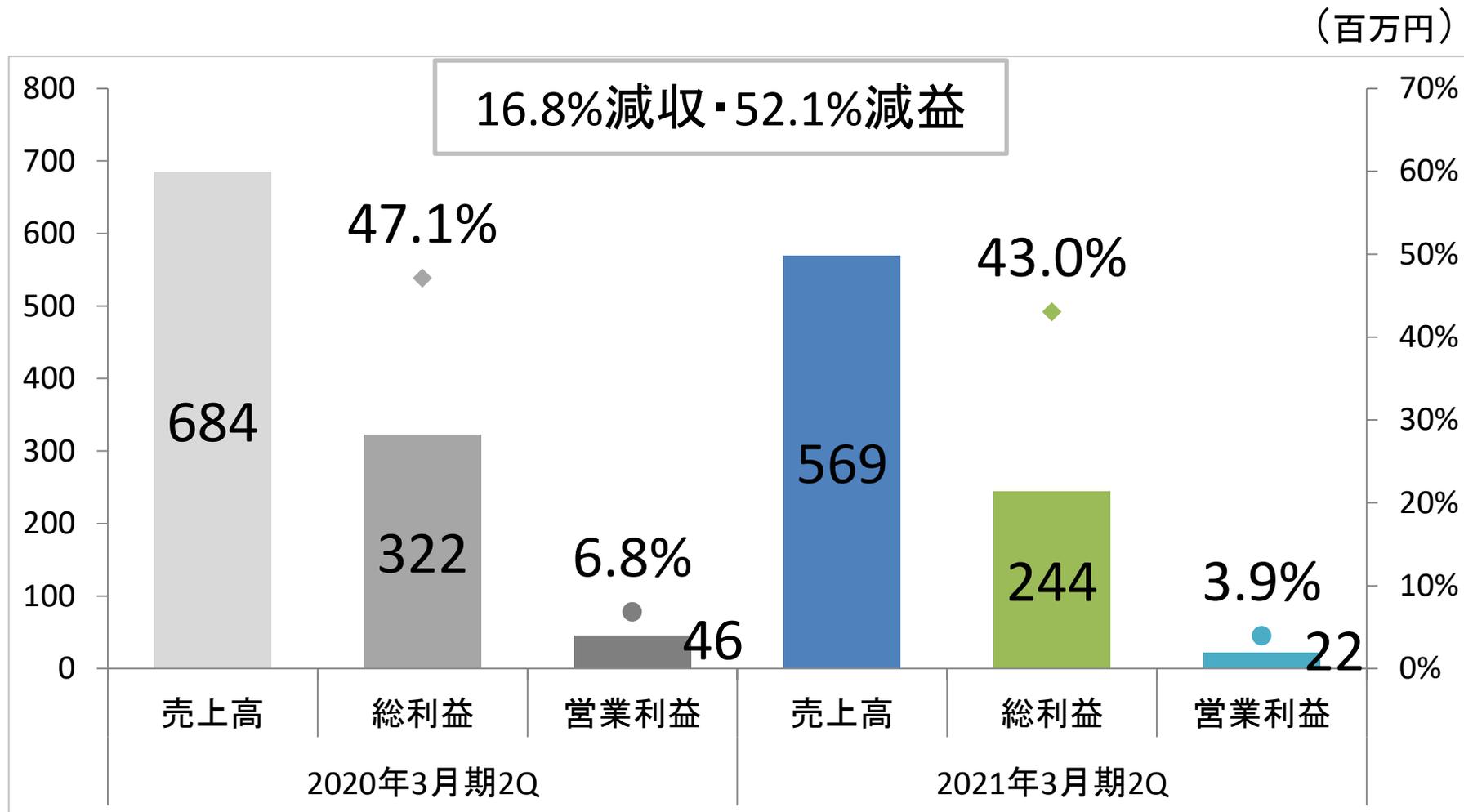
衛生検査器材

- ・国策による様々なキャンペーンが奏功し底打ちの兆し⇒下期以降回復の見込み
- ・新型コロナの影響により食品衛生業界の産業構造が大きく変化する中で当社の強みを生かした販売戦略の立案が急務
- ・シャーレ梱包工程の自動化による合理化、PS材料の価格下落により原価体質は大きく改善

PIM

- ・高機能部品の受注回復の見通しは不透明、来期量産予定のターボ部品試作イベントに注力するため、引き続き営業活動を制限
- ・遅延していたターボ部品試作イベントは大きく進展、ターボメーカーの最終試験(高温耐久試験)に合格
- ・量産開始に必要な新規設備の発注を開始⇒2021年秋の量産を目指す

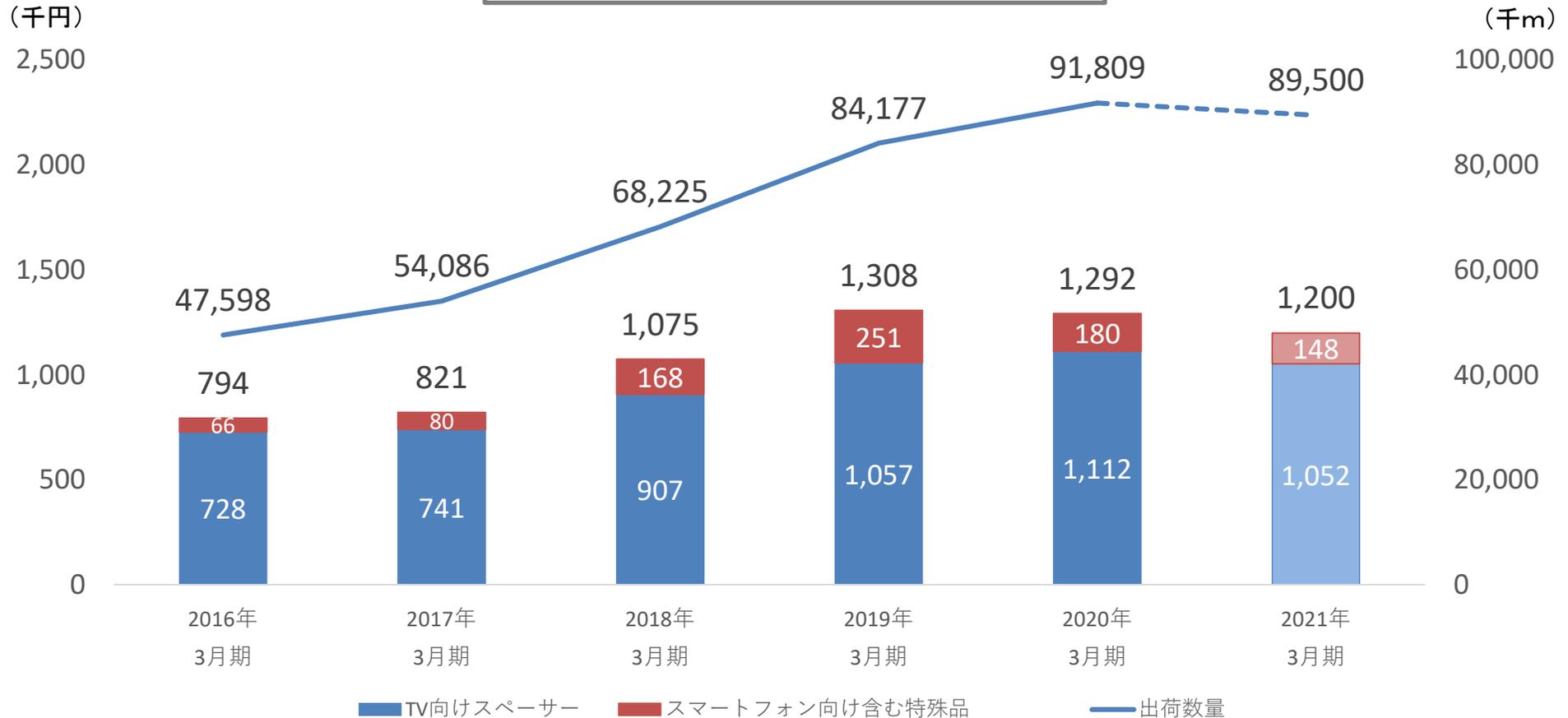
セグメント別業績(半導体資材)



当第2四半期も低調な状態が続き、上半期累計の出荷数量は8.8%減(2Q単独は12.3%減)

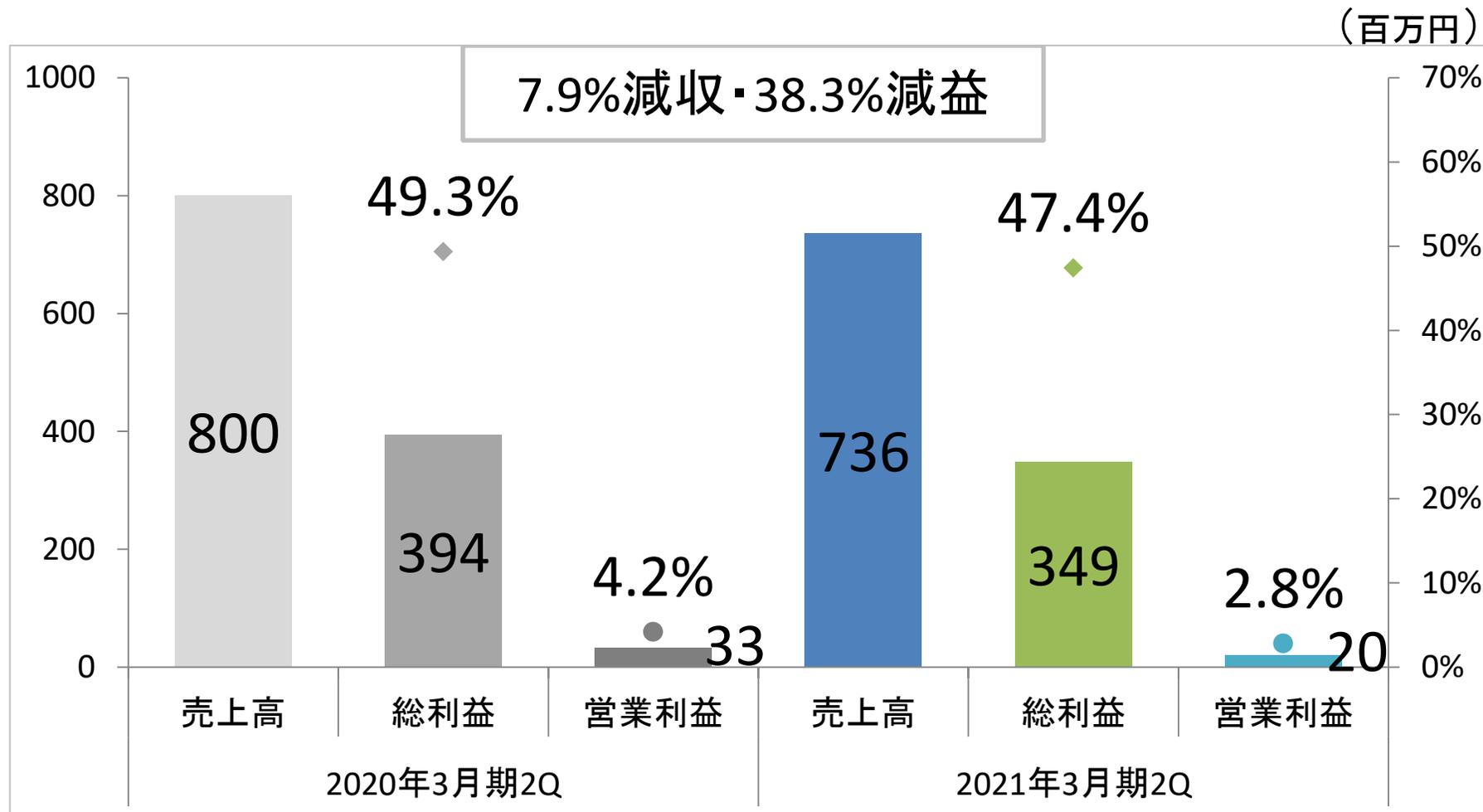
セグメント別概況：半導体資材の通期売上高見込

通期売上高・出荷数量推移



通期での出荷数量見込は前期比2.5%減にとどまる見込みだが、円高・WON/NT\$安及び販売単価の高いスマートフォン向けを含む特殊品が低調であったため売上高は7.1%減少

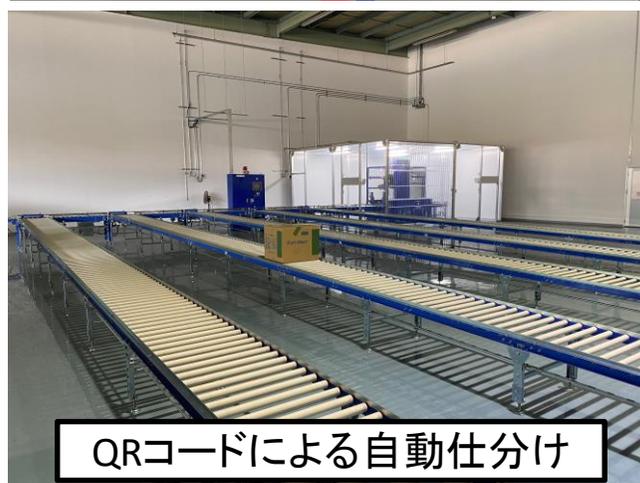
セグメント別業績(衛生検査器材)



新型コロナウイルスの影響による観光産業、外食市場先の受注減少
シャーレ製品を中心に在庫圧縮によるキャッシュフロー改善を重視

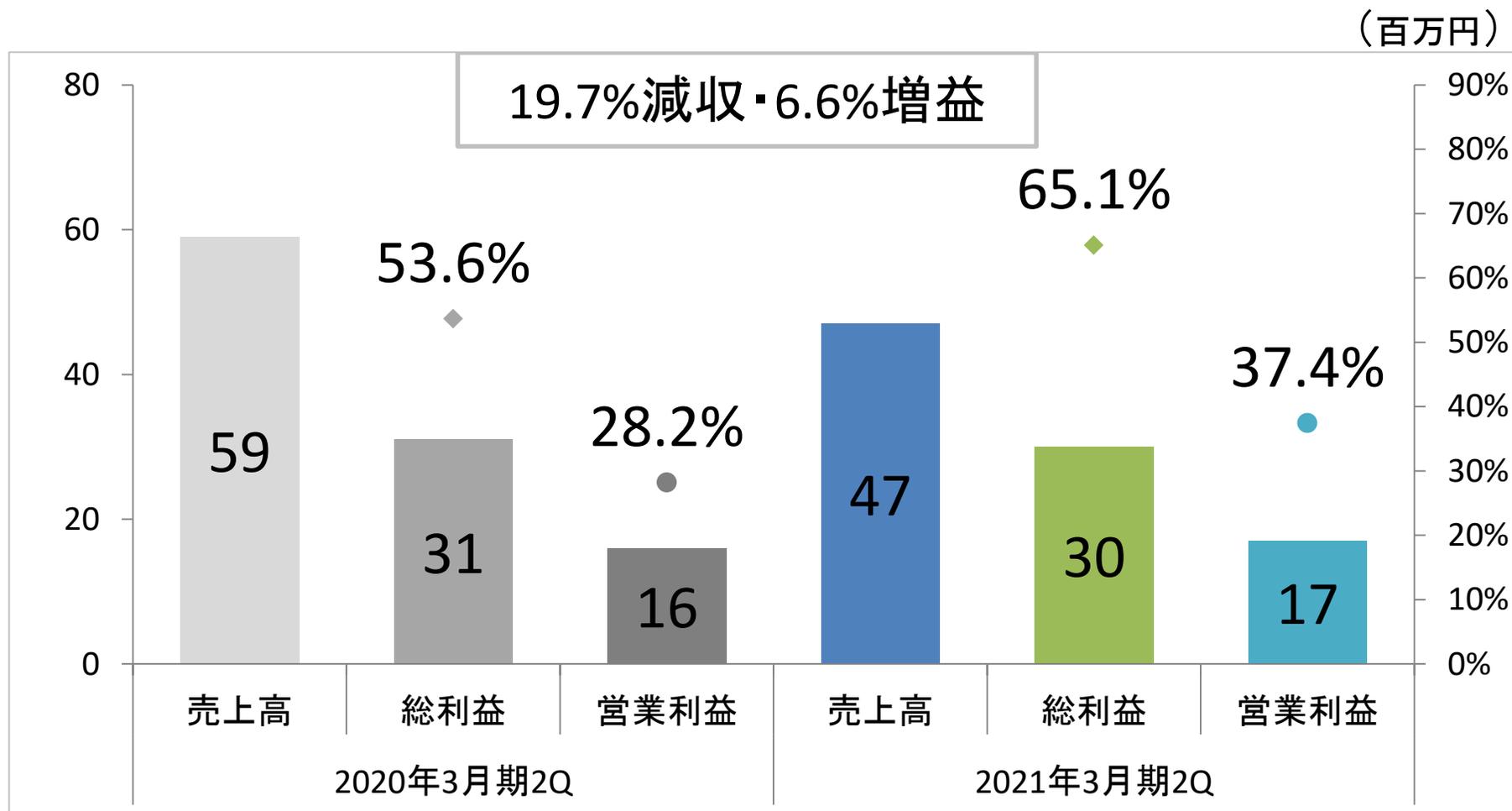
セグメント別概況：衛生検査器材

シャーレ自動梱包ライン本格稼働



省人化による原価低減及び重労働の大幅軽減による離職率改善

セグメント別業績(PIM)



長引く米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響により半導体設備や工作機械の世界的需要が低迷し、高機能部品の受注回復には至っていない

大手ターボメーカーと自動車用ターボ部品、ノズルベーンをはじめとする数品種の量産に関するMOU(了解覚書)を2019年8月に締結

- ・試作(当社) ⇒取引先とのシステム監査完了
- ・評価(客先) ⇒ターボメーカーでの最終試験に合格
量産開始1年前に必要な『本金型・本設備』の発注指示を正式受領
- ・承認(自動車メーカー) ⇒最終の高温耐久試験へ(2021年初旬予定)
- ・量産最終合意 ⇒2021年初旬予定
- ・新設備導入立上げ(当社) ⇒2021年4月完了予定
- ・本監査 ⇒2021年5月予定
- ・量産開始(当社) ⇒2021年10月予定

※赤文字部分が進捗
青字部分は予定



今後は自動車メーカーでの最終評価試験の合格後、本監査の準備と並行し、PPAP(生産部品承認プロセス)の完成を加速させる

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail: ir@atect.co.jp